

■ R6年度 ポピュレーションアプローチ（フレイル状態の把握）■



体力測定

《体力測定》

医療専門職による健康教育の実施（地域包括支援センター委託事業）

医療専門職が通いの場に出向き、体力測定を行い、結果を説明します。

- ・体力測定および質問票は初回および3か月～半年後程度に実施。
- ・毎月の通いの場では地域の世話人が介護予防の体操を行い、血圧高値の人には医療の受診勧奨を行います。また握力測定も行い、フレイル状態の把握を行います。

eスポーツ体験によるフレイル予防（金城大学 委託事業）

初回に体力測定及び質問票の取得とコグエボ（認知症評価ソフト）を行い、フレイル予防等についての健康教育を実施します。

また毎回、理学療法士(金城大学教員)が指導・介入し、認知症予防に効果のあるeスポーツを学生と交流を図りながら行います。

最終回も同様に体力測定と質問票、コグエボ（認知症評価ソフト）の取得を行い、初回との経過を自身で確認します。



e-スポーツ



太鼓の
達人